

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Lコート

試合区分: No. 110 成年男子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 山内俊幸

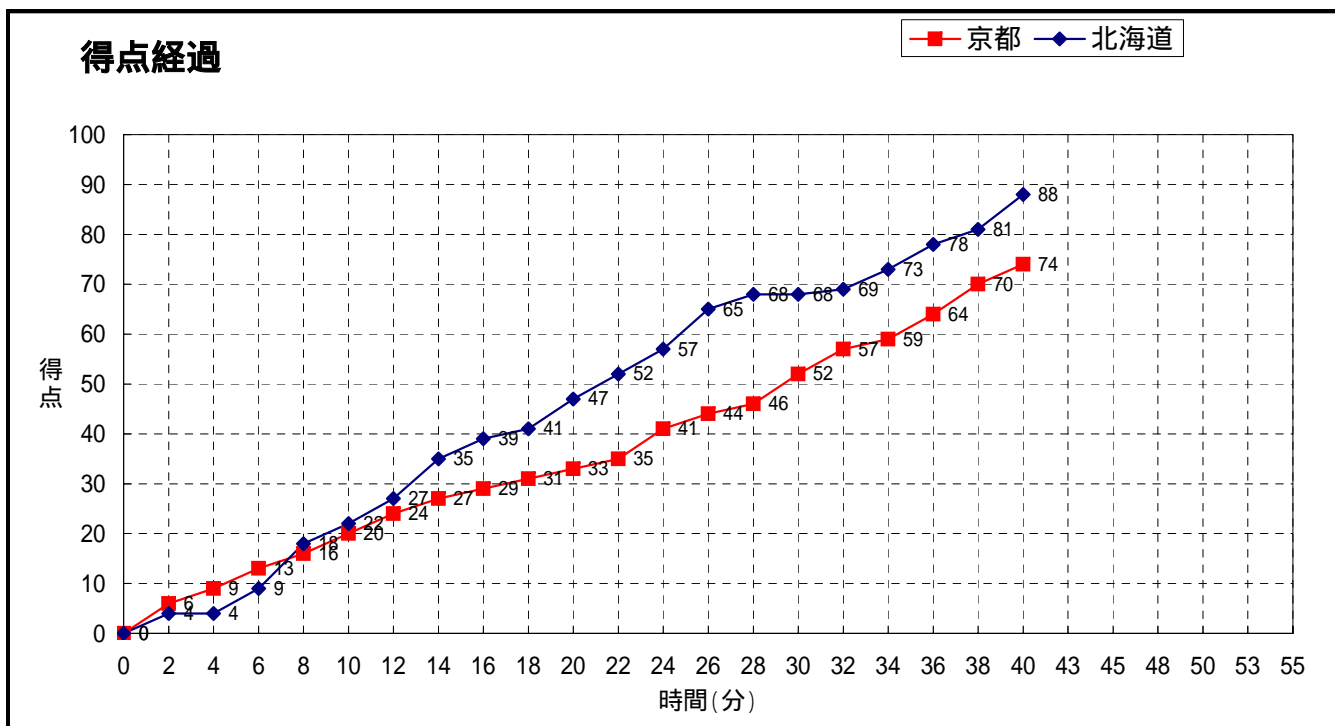
開始時間: 11:55

副審: 石田祐二

終了時間: 13:37

北海道						京都									
88						74									
22 -st1- 20						25 -2nd- 13									
21 -3rd- 19						20 -4th- 22									
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	義達 智	30	4	6	6	3	4	*	大澤 徹也	12	2	3	0	3
5	*	片桐 圭裕	9	3	0	0	4	5		岡田 修	-	-	-	-	-
6	*	広瀬 慎一	2	0	1	0	6	6		清水 雄二	-	-	-	-	-
7	*	後藤 崇	23	1	8	4	0	7	*	国本 茂司	22	2	6	4	2
8	*	片山 貴雄	5	0	2	1	3	8		小西 正宏	3	0	1	1	1
9		込山 覚徳	8	0	4	0	3	9		別所 斉	-	-	-	-	-
10		宮腰 裕一	5	0	1	3	0	10		梅原 好弘	5	1	1	0	5
11		大西 弘太郎	4	0	1	2	0	11	*	立石 和也	5	0	2	1	2
12		大塚 隆広	0	0	0	0	1	12	*	長倉 脩	4	0	1	2	3
13		山本 洋平	2	0	1	0	1	13		菅谷 徹	-	-	-	-	-
14		竹中 克守	0	0	0	0	3	14	*	伊藤 裕基	15	1	5	2	5
15		牧 佑一	0	0	0	0	0	15		川端 竜太	8	0	4	0	1
コーチ		坂井 良昭						コーチ		庄田 雅一					
合計			88	8	24	16	24	合計			74	6	23	10	22

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、互いにマンツーマンディフェンスで始る。開始1分、京都#7梅原が3Pで先制する。対する北海道も、#4義達の3Pで応戦。しかし、京都は速攻を生かしたプレーで得点を重ね、流れは京都に傾き始める。北海道も残り3分、#4義達の3P、速攻等で加点。一進一退の攻防が続き、結局22-20と北海道のリードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、お互い守りが厳しく得点できず、開始2分、北海道#4義達がシュートを決めてから試合が動き出し、徐々に北海道ペースで試合が進む。残り6分、北海道はオールコートマンツーマンディフェンスを展開し、さらにリードを広げる。39-29と10点差となった所でたまたま京都がタイムアウト。しかし、北海道は#5片桐の連続3P等でさらにリードを広げ、47-33と北海道リードで前半を終了した。

第3ピリオド、第2ピリオドの流れのまま北海道が先制。京都も#7国本、#14伊藤が得点し、リードを縮めようとするが、北海道のカバーディフェンスを崩せず、連続得点できない。北海道はスクリーンプレーと早いパス回しから確実に得点を重ね、68-52と、さらにリードを広げた。

第4ピリオド、京都は開始1分、#10梅原の3P、#15川端の連続得点で点差を縮める。北海道も#4義達の3Pなどで、加点しリードを保つ。追いつがる京都も、#4大澤の3P等で確実に得点。残り4分には10点差までに迫る。さらに京都はオールコートプレスをしかけ追撃を図るが、点差を縮めることができず88-74で北海道が勝利した。

担当者: 平井 省吾(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会